

資料 2-3 神奈川県に関連する研究機関

No	研究機関名	部課	住所	研究内容	回答
1	神奈川県温泉地学研究所		小田原市入生田586	・箱根火山と神奈川県西部地域の地震・地殻変動の観測調査を実施。	○
2	神奈川県環境科学センター		平塚市四之宮一丁目3番39号	・環境情報部環境監視情報課:大気汚染、水質汚濁等の環境監視/環境情報の収集・解析及び提供/騒音・振動に係る調査・指導 ・調査研究部地域環境担当:大気・水域の化学物質に関する調査研究/ダイオキシン類やPRTR法対象物質などの化学物質調査/廃棄物最終処分場の安定化に関する調査研究/工場・事業所、廃棄物処理施設等における排水、排ガス等検査/地下水、土壌汚染、悪臭に関する調査・指導/アスベストに関する調査/水質事故・苦情等対応調査など ・調査研究部水源環境担当:水源環境の保全に向けた調査研究(水生生物による環境評価、丹沢ブナ林衰退への大気環境の影響など)	
3	自然環境保全センター		厚木市七沢657	・研究企画部研究連携課:丹沢大山の自然環境保全	
4	神奈川県水産技術センター	企画資源部	三浦市三崎町城ヶ島養老子	・企画資源部:調査船やブイ等による海況データの収集と関係機関へのデータ提供	○
5	農業技術センター		平塚市上吉沢1617	・企画経営部研究企画担当:要試験研究問題「火山灰降下に対する農産物の栽培法について」など。 ・企画経営部普及企画担当:「地震及び原子力発電所事故に伴う農業被害対策等」など	○
6	農業技術センター畜産技術所	企画研究課	海老名市本郷3750	・神奈川県内の畜産農家(牛、豚、鶏を飼っている農家)が、牛乳や肉・卵を、新鮮でおいしく安く生産するための研究	○
7	神奈川県衛生研究所		茅ヶ崎市下町屋1丁目3番1号	・微生物部:細菌・環境生物グループ、ウイルス・リケッチアグループ ・理化学部:食品化学グループ、薬事毒性・食品機能グループ、生活化学・放射能グループ ・地域調査部:細菌検査グループ、化学検査グループ、小田原分室	
8	神奈川県産業技術センター	企画部企画調整室	海老名市下今泉705-1	・科学技術部環境安全チーム:化学物質・廃棄物の安全化、水処理、繊維技術	○
9	(独)理化学研究所 横浜研究所		横浜市鶴見区末広町1-7-22	・医療の未来を拓くをテーマに研究	
10	横浜国立大学 産学連携推進本部		横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5	・生涯学習をはじめとする教育による社会貢献と産学連携を中心とする研究による社会貢献を通じて、大学が生み出した『知』を社会に還元する。	
11	公益財団法人 神奈川県科学技術アカデミー		川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP内	・神奈川県の科学技術政策と産業振興政策を具体化する産学公連携機関として、先端的かつ高度な科学技術分野における研究の推進と技術移転、創造性のある人材の育成、学術文化活動の振興、地域の中小企業の研究開発を目指している。	
12	株式会社 ケイエスピー		川崎市高津区坂戸3-2-1	・ベンチャーの育成支援・インキュベーションを通じて新産業創出に取り組んでいる。創業から事業成長、株式公開までの各ステージにおいて成長段階に応じた支援を行ない、時代要請に合致した高付加価値型ベンチャー企業の輩出を促進する事業展開を進める。	○

13	(独)海洋研究開発機構	研究部門	横須賀市夏島町 2番地15	戦略研究開発領域 ・地球環境観測研究開発センター ・海洋掘削科学研究開発センター ・地震津波海域観測研究センター ・海洋生命理工学研究開発センター 等 基幹研究領域 ・大気海洋相互作用研究分野 ・地球深部ダイナミクス研究分野 等	○
14	(独)港湾空港技術研究所		横須賀市長瀬 3 丁目1番1号	・海洋研究領域:波浪研究チーム、耐波研究チームなど ・海洋情報研究領域 ・地盤研究領域 ・地震防災研究領域:地震動研究チーム、耐震構造研究チーム ・構造研究領域 ・アジア・太平洋沿岸防災研究センター	
15	一般財団法人 港湾空港総合技術センター	建設マネジメント研究所	横浜市中区南仲通 3-32-1 みなとファンタジアビル 6F 千代田区霞が関 3-3-1	1.公共調達の高度化や国際化への対応のための調査研究 2.事業実施におけるリスクマネジメントの適用に関する調査研究 3.ライフサイクルマネジメントやアセットマネジメントに関する調査研究 4.積算手法や施工技術の標準化に関する調査研究 5.情報システムの高度化への対応のための調査研究 6.人材の育成と技術の伝承のための調査研究	○
16	横浜市史資料室		横浜市西区老松町1番地	関東大震災の復興期から現在までの資料を所蔵・収集・公開	
17	横浜開港資料館		横浜市中区日本大通3	19世紀半ばから関東大震災の時期までを中心に資料を所蔵・収集・公開	
18	横浜市開港記念会館		横浜市中区本町1丁目6番地	講堂、会議室、資料コーナー等を備えている。	○
19	第三管区海上保安本部		横浜市中区北仲通 5-57	業務の中の自然災害対策としては海上における台風や津波等の自然災害による被害を最小限に抑えることを目標としている。そのため、以下の確立と提供に取り組んでいる。 自然災害発生時に迅速かつ的確な応急対策を実施する体制の確立 地震・火山活動やそれに伴う津波に関する精度の高い事前情報の提供	
20	神奈川県立生命の星・地球博物館		神奈川県小田原市入生田 499	・研究内容は植物グループ、動物グループ、地球環境グループ、古生物グループがある。 ・地球環境担当学芸員:平田大二(地質学・岩石学)新井田秀一(地球環境・人工衛星画像解析)、山下浩之(地質学・岩石学・実験岩石学)、笠間友博(地質学・火山灰層序学)、石浜佐栄子(地質学・堆積学)	
21	神奈川県総合防災センター	企画運営課	厚木市下津古久 280	・大規模な災害の発生に備え、広域的、総合的な災害応急活動の中央基地として災害応急活動に必要な業務を行う。「防災情報・体験フロア」の運営をはじめとした防災知識の普及啓発業務を行う。	○

22	国土交通省 国土技術政策総合研究所		横須賀市長瀬 3丁目1番1号	横須賀庁舎 沿岸海洋・防災研究部 ・海洋環境研究室:沿岸海洋の環境に関する調査、研究、技術の開発 ・沿岸防災研究室:沿岸海洋の災害の防止に関する研究 ・危機管理研究室:沿岸海洋の危機管理に関する研究 ・沿岸域システム研究室:沿岸域の利用、開発、保全に関する研究	
23	味の素川崎工場		川崎市川崎区鈴木町1-1		○
24	麒麟横浜ビアビレッジ		横浜市鶴見区生麦 1-17-1		
25	クツのオーツカ資料館		横浜市港北区吉本町 4-8-1		
26	KYB史料館(KYB株式会社)		相模原市南区麻溝台 1-12-1		○
27	鈴廣のかまぼこ博物館		小田原市風祭245		○
28	電気の史料館		横浜市鶴見区江ヶ崎町 4-1		
29	環境エネルギー館		横浜市鶴見区末広町 1-7-7	2014年3月16日閉館	
30	東芝科学館		川崎市幸区小向東芝町1		
31	日産エンジンミュージアム		横浜市神奈川区宝町2		
32	日本郵船歴史博物館・氷川丸		横浜市中区海岸通 3-9		
33	沼田記念館・ミツヨ博物館		川崎市高津区坂戸 1-20-1		
34	三菱みなとみらい技術館		横浜市西区みなとみらい 3-3-1 三菱重工横浜ビル		
35	公益財団法人はまぎん産業文化振興財団		横浜市西区みなとみらい 3-1-1 横浜銀行本店内		○
36	神奈川県立青少年センター科学部		横浜市西区紅葉ヶ丘 9-1		
37	日本新聞博物館		横浜市西区日本大通11	新聞本紙、号外を所蔵。災害関連記事も多数所蔵。	